

学校教育目標	『力を合わせて、ともに歩もう』 自分のよさに気づき、愛するまちや人とともに、自分の生き方を切り拓いていく児童生徒を育てます。					
	○強く優しい心と、健やかでたくましい体を育てます。(徳・体) ○ルールを尊重し、共に支え合いながら公平・公正に接する態度を育てます。(知・公) ○自ら積極的に社会に貢献し、国際社会の平和と発展に努める態度を育てます。(開)					
学校概要	創立 73 周年	学校長 間邊 浩二	副校長 宇佐美 みどり	3 学期制	一般学級:	個別支援学級:
	児童生徒数:	人	主な関係校: 鶴見小学校 豊岡小学校 (東台小学校)			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自分づくりに関する力 伝え合い自分の考えを深化する力 ○課題発見・解決能力 協同的に解決策を見いだす能力 結果を予測し現実と比較する力	鶴見中学校 鶴見小学校 豊岡小学校	○笑顔とあいさつがあふれ自分や周りを大切にできる子ども ○地域の中でたくましく、より良く生き、学ぼうとする子ども ・鶴見中ブロックで児童生徒理解や授業研究会を行い、児童生徒理解・教科・領域における情報交換を積極的に行う。 ・中一ギャップが生じないよう、児童の参観授業や部活動体験、中学生から児童へのオリエンテーションなどを行う。

中期取組目標	○生徒一人ひとりが大切にされ、深い信頼関係に基づいた指導で誰もが安心して豊かに生活できる学校を目指します(人権教育の推進) ○教職員が互いに研鑽し、資質の向上に努めることによって活気あふれる学校を目指します(魅力ある学校づくり) ○保護者・地域からの信頼をさらに深め、協働して質の高い教育を目指します(地域とともに歩む学校) ○「分かる授業・楽しい授業」をめざし、日々の実践から研究を進め、教師力の向上を図ります(授業改善の推進)
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①校内授業研究会を技術と社会で実施し、「分かる授業」「習得型アクティブラーニング」について研究する。②中間期に生徒による授業評価を実施し、各教科で現状把握や分析を行い授業改善につなげる。③SDGs・ESDや各教科・各領域と横断的な取組を絡め、主体的に学習する態度を高めるための授業を目指す
豊かな心	①思いやりの心や感謝の気持ちをもてるように、自分と他者を理解した言動がとれる目標を設定し、各教科横断的に一層取り組む。②総合的な学習の時間や校外学習、講演などで人、自然、歴史とのふれあいを通して、道徳的な実践力を促したり、培ったりするための体験を一層充実させる。
健やかな体	①保健体育の授業や部活動の取組を通して、体力や技能の重点課題を明確に資質能力の向上を目指すし、体力向上を図る。②学校全体で熱中症対策を施しながら、安全に配慮し基礎体力の向上を養う。③保健委員会、美化委員会を中心に自己の体調管理、学校の環境整備に努め、規則正しい生活を築く。
教育課程の推進	①鶴見中ブロックにおいて「自己肯定感の高まり」を主題に児童生徒理解、教科、領域において具体的に取り組み、評価の一体化を目指す。②学校経営計画と鶴見中スタンダードを柱とし、実践を通して教育課程の推進を目指す。
児童生徒理解	①年2回の生徒指導理解研修を行い、全職員で生徒理解を共有し共通の指導を目指す。小中ブロックでは9年間で育てる子ども像を確認し指導方法の共通理解を図る。②年3回の教育相談と個人面談を通じて、生徒との信頼関係の構築と家庭との連携における支援を確立していく。
特別支援教育	①一般学級、個別支援学級、通級教室、国際教室の生徒の状況を把握し、日常的な支援に一層努める。②生徒一人一人の課題に応じた教育支援をまとめ、個別支援計画、個別指導計画を作成する。③日本語指導が必要な生徒に対しても同様に教職員の指導体制を確立する。
保護者・地域連携	①田祭り、夏祭り、ちびっこ王国などの地域行事に生徒と共に教職員も積極的に参加し、地域との関わりを深めていく。②職員体制においては広報渉外部が中心となり、地域行事に参加する。③学校・地域コーディネーターを配置し、学校と地域の連携が円滑に行えるようにする。
人権教育推進	①生徒一人ひとりに寄り添い、生徒の普段の生活を見つめ、情報の共有化を深める一層の取り組みを行う。②教科・総合的な学習の時間・道徳など様々な自主活動の中で、言動をふり返り、お互いの価値を認め合うことがいかに大切かを学習していく。
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会の取組を明確化し、SCや外部機関を活用しながら的確な支援体制を確立する。②「いじめ」根絶横浜メソッド等を活用し、集団の中での仲間づくりや認め合う関係づくりを充実させる。③毎月のいじめ認知報告や教育相談等を活用して、生徒の状況把握に努め、状況改善のための支援方法を確立させる
人材育成・組織運営(働き方改革)	①学校経営計画からその役割を理解し、主体的にキャリアを重ねようとする組織の構築を図る。②鶴見中スタンダードにおける具体的なカリキュラムマネジメントを更に徹底し、実践を通じて個の能力の育成に努める。③学校運営全般におけるスタートとゴールを明確にし、質の高い働き方を目指す。

